

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	821	地場産業振興事業	01	01	一般会計
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	07	07	商工費
			01	01	商工費
			03	03	観光費
担当部課名		阿山産業建設課	101	101	観光振興経費
作成者氏名	服部 伊久夫	連絡先	43-1544	02	地場産業振興事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
伊賀焼振興協同組合 伊賀焼陶器まつり実行委員会 伊賀焼陶磁器工業協同組合		常設展示や体験により伊賀焼に対する理解を深めることができる 販路拡大と全国的なPRができる 生産資材の安定確保が図られる
本年度 事業内容	伊賀焼伝統産業会館の管理運営委託 伊賀焼陶器まつり運営助成金 地場産業生産振興補助金	
開始年度	平成 年度	終了年度
	平成 年度	
根拠法令・要綱等		
管理に関する基本協定書・支所関係補助金交付要綱		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	4,020	3,656	3,656
委託料	3,800	3,458	3,458
その他	220	198	198
合計(A+B)	5,460	5,096	5,096
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	5,460	5,096	5,096
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
伝統産業会館入館者数	人	3,725	3,750	3,750			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
伝統産業会館入館者数	入館料が徴収されるので入館者数が把握されるため指標とした	人	3,725 目標 ()	3,750	3,750
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成3年4月に伝統産業の振興及び発展を図るため開館。歴史的資料等の展示をはじめ、伊賀焼体験学習にも利用され、毎年度3,500人以上の入場者がある
現在以上に施設の積極的なPRが望まれる

評価	必要性	4	伝統産業の伊賀焼振興の上で拠点施設として、大きな効果を上げている。	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		